

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特 集

地域の町おこしに貢献しているクラブ

佐野中央スポーツクラブ ～地域のスポーツ行事を活性化!～



キーポイント

- 活動停滞しかけたスポーツ行事をクラブが活性化
- これまでスポーツに関わることが少なかった地域住民を巻き込む
- 地域の主要な行事に携わることでクラブの認知度向上

1 クラブがスポーツ行事運営に携わる!

「佐野中央スポーツクラブ(以下、クラブ)」(栃木県佐野市)が設立されたきっかけは、これまで町のスポーツ活動を支えていた町体育部(地区体育協会)が活動停滞したことに始まります。クラブが所在する出流原町では、これまで町体育部が運営中心となり開催されていた「春の運動会」「秋の球技大会」「冬の駅伝大会」という3大スポーツ行事がありましたが、平成17年頃から、人材不足によりそれら行事の存続が危ぶまれてきました。その際に、県体育指導委員協議会(現スポーツ推進委員協議会)の副会長が、町に総合型クラブを創ることでこの状況を打開しようと動き出し、平成19年にクラブを設立しました。

開催の危ぶまれた3大スポーツ行事の運営を立て直すべく、クラブはまずスポーツ行事を主催する行政と行事運営に町体育部と同様に深く携わっていた町内会への交渉を行いました。クラブは町内会の会議において、総合型クラブに関する説明会を開催し、総合型クラブが地域づくりに貢献していく組織であるということを熱心に訴えました。当初は「総合型クラブ」という仕組み自体を理解してもらうのが大変だったそうです。やがて、町内会の理解もいただきクラブがスポーツ行事に関わることができるようになりました。

2 工夫した点は「一堂に会する場を効果的に活用する」こと!

出流原町は人口1,080名の規模の小さな町であるため、地域の方々は地域の色々な団体の役職を兼務していることが多いです。そこでクラブでは、町内会の会議終了と同時にクラブの運営委員会を開催することとしました。町内会は地域の各種団体からの参加者がいるので、効果的にその場を活用することができます。その際、町の区長や体育部長の代表の方にも委員となってもらっています。

3 より多くの地域住民がスポーツ行事に携わる

スポーツ行事の運営主体が町体育部からクラブに移ったことで得られた最も大きな成果は、より多くの地域住民におけるスポーツに関わるきっかけ作りができたことです。

現在、クラブでは3大スポーツ行事運営のほか、出流原小学校体育館及びグラウンド等を利用して、ヨガ教室、バドミントン教室、ソフトボール教室を実施しています。これまでスポーツにあまり関わりのなかった方々も対象としているため、教室に参加することで、やがてスポーツ行事の運営にも自然と参画してもらえるようになり、これまで以上にスポーツ行事が活性化するようになりました。

クラブにとっては、地域の主要な行事であるスポーツ行事にクラブが関わることで、クラブが町に存在する価値を高められているようです。またクラブの広報紙を年3回、全戸配布していることもあり、現在では住民の多くがクラブのことを知っているそうです。クラブマネジャーの神山氏によると「この地域にクラブがなかったら、町内のつながりが希薄になり、地域コミュニティがなくなって、地域がバラバラになっていただろう」ということでした。



4 今後の展望

町おこしは誰かに頼るのではなく、そこに住んでいる住民が「自分たちの住んでいる地域は自分たちで何とかしないといけない」という気持ちを持つことが大事です。

今後のクラブとしては、町の公民館が将来的に新しくなる際には、その一角に楽しく体を動かして集えるような場所、そこに行けばいつも誰かがいて世間話ができるような場所を作りたいと、神山氏はおっしゃっていました。

(栃木県クラブアドバイザー 宮本栄子)

クラブプロフィール

設立年月日：平成19年3月3日

地域：栃木県佐野市出流原町

運営：会員数 1,080名(平成25年8月現在) 予算規模 約150万円(平成25年度)

特徴：出流原町に住んでいる人が全員会員である。出流原町自体が総合型地域スポーツクラブになっている

連絡先：〒327-0102 栃木県佐野市出流原町1327-1
かみやま ひさお
神山 久夫

TEL:0283-25-0743/FAX:0283-25-0944

E-Mail: kamiyamahisao@sctv.jp